

## 要旨 (Abstract)

私は、首都直下地震を卒業研究のテーマに置いた。震災によりあらゆる被害が想定される中、最も死者数が多いとされる火災を主体として研究を述べていくつもりである。自助・共助・公助から見た災害対策を図っていくが、土台となる自助や共助を固めつつ、中でも対策が難しく政府から見ておろそかになりやすい公助の強化を図っていくと仮定している。公助は、自助や共助よりも機能しにくいいため、「公助の限界」が生じてしまう可能性が高い。よって、日頃から自助や共助が欠かせないというふうに解釈している。ただ、自助・共助・公助においてそれぞれ明確な対策が存在しており、一人ひとりが必要な役割をこなせば、被害は激減することができるかと私は考えている。たとえ大きな被害が予測される首都圏であっても、全ての要素に問題点があるわけではなく、メリットも存在しているので、メリットの部分も照らし合わせて説明していくつもりである。